



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKACHI

十勝ワイズメンズクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

THE SERVICE CLUB OF
YMCA2018-2019 7月号
CHATERED 1977

事務局 〒080-0312 北海道河東郡音更町南鈴蘭南4丁目5-5 とかち帯広YMCA内

TEL : 0155-32-5561 FAX : 0155-32-5562

国際会長 Moon Sang-bong 【韓国】 『Yes, We Can Change! (私たちは変えられる)』
 アジア太平洋地域会長 田中博之 【東京多摩みなみ】 『Action! (アクション!)』
 東日本区理事 宮内友弥 【東京武蔵野多摩】 『為せば成る』
 北海道部部长 二本松能敬 【北見】 『その先のワイズへ』
 十勝クラブ会長 赤松明彦 『今、出来る事から行動しよう。未来のために』



《今月の聖句》 詩編 96編 11節~12節

天よ、喜び祝え、地よ、喜び躍れ/海とそこに満ちるものよ、とどろけ。
 野とそこにあるすべてのものよ、喜び勇め/森の木々よ、共に喜び歌え。

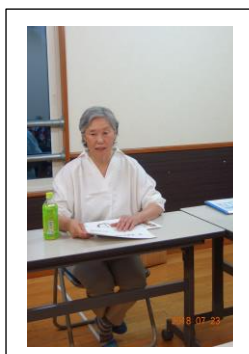
(バビロン捕囚からの解放を喜び、神に感謝の歌を歌う。新しい年度に相応しい箇所)

会員		7月出席者	ニコニコボックス	クラブ役員	
在籍	18名	メンバー 13名	前月残高 305,651円	会長 赤松 明彦	書記 山本 雅之
内、広義	1名	ネット・コメント 0名	今月入金 10,500円	次期会長 池田 正勝	会計 中村 義春
休会	2名	ゲスト 1名	今月支出 0円	副会長 矢竹 克年	直前会長 山田 敏明
出席率	76%	ビジター 0名	今月残高 316,151円	々 重堂 幸恵	連絡主事 川口 豊
		メイアップ 0名			
		計 14名			

◎ 7月例会報告

山本雅之

赤松会長年度の7月キックオフ例会は7月23日YMCAを会場に開催されました。ゲストスピーカーとして(有)アグリファクトリーの中村千代さんにおいで頂きました。



中村さんは当初、障がいがあるお子さんの将来のためにお店を始められました。それが豆腐や野菜を中心にした食事処「あがり框(かまち)」、手造り惣菜類を商品とする「かまちDe惣菜」へと広がっていきました。いずれも障がいを持った方も共に多数働いていらっしゃいます。

「あがり框」は子育て中の方も気楽に集まって来られる場所を無料で提供されています。

さらに「啐啄童子(そったくどうじ)」という障がいのあるスタッフと一緒に働き自立をサポートする事業所をも始められました。正に親鳥がヒナに巣立ちを促す「啐」、ヒナもこれに応じていく「啄」の関係に擬せられるところです。就労継続支援B型事業所として上記の作業場で共に働いています。

一昨年には、児童養護施設を出るなどした後、行き場のない女性を受け入れるシェアハウス「風來逢笑(ふうらいあうえい)」をも開設しました。建物1階には精神科のクリニックがあり、2階は最大6名が利用できる施設となっています。お金の

2018年7月役員会

2018.07.02(月)19:15-20:50

- 7月例会について
7月23日(月)午後7時00分より
担当 山本ワイズ:会場 とかち帯広YMCA
- 前期半年報の確認
2018年1月1日 19名
2018年7月1日 18名
広義1名(越智)休会2名(高田、武藤)
- 年間の例会当番
会長主題:『今、出来る事から行動しよう。未来のために』
担当は別表を参照
- 今年度の予算案
次回再提出
- 十勝での東日本区大会に向けて
 - 第22回東日本区大会
2019年6/1~2 国立刈刈ッヅ記念青少年総合センター
登録費:13,000円
(山田ワイズが2019-2020年度理事に就任)
 - 第28回アジア太平洋地域大会
2019年7/19~21 仙台国際センター
登録費:36,000円(山田ワイズが実行委員長)
 - 第23回東日本区大会
2020年6/6(土) 帯広(渡辺ワイズが実行委員長)
- その他
 - 中村義春ワイズが2020-2021年度の北海道部長クラブ承認
 - 7/14-15のチミケツップキャンプワークに3名参加。
山下、池田、中村。1人5000円助成。
 - 6/28に沼津クラブ4名の来訪を受け、交流会。
 - 重堂ワイズがBF切手担当にご協力を
- 諸報告
 - YMCA夏プロ。
7/13-14 太陽組お泊り会。7/21-22 一般小学生キャンプ。7/28 ホテル観賞会。7/3,5 お芋の花見。

自己管理が苦手な利用者もいて生活指導全般を支援しなければなりません。また行政側からの受入依頼もあるそうですが、『とりあえず中村さんの処でお願いしますよ』などの話もあるとか。今月7月だけでも、緊急性のある要支援者が3名もいて対応が大変だったとおっしゃっていました。

「あがり框」も通常のランチ営業は終了して予約営業のみとして柔軟に対応していける様に営業スタイルを変更したそうです。本当に支援を必要としている人へのサポートのためなのだろうと勝手に思いました。

かつて新得共働学舎の宮嶋望さんは聖人マザーテレサにこう言われたそうです。

『私は、いちばん弱い立場で立っている者がいちばん必要としているものを届けることを神の御旨だと思っている。その私が世界中を回って見て、いちばん心が飢えているのは日本の子どもだ。』

「啐啄童子」は禅語の「啐啄同時」から来たものでしょうが、聖書の言葉と通い合うものを強く感じました。



◎YMCAにJICAのナオミさんが来られました。

7月18日(水) JICA 研修員のナオミさんとかち帯広YMCA 幼保園を訪問しました。



ナオミさんは母国ガーナの民族衣装を着て登場。自己紹介をした後に、ガーナの食べ物（カカオや唐辛子など）や動物（ぞうやヒヒなど）について子どもたちに説明しました。時には子どもたちが手を挙げて質問する場面も。「ヒヒもバナナを食べるの?」「ジヨロフライス（ガーナ料理）食べてみたい!」と元気よく質問したり発言したりしていました。



その後はお返しに園児から英語の歌のプレゼント。そら組（年中）は「幸せなら手をたたこう（英語版）」を、たいよう組（年長）は「Hello Song(10 languages)」を歌い、子供たちの可愛らしい歌声が教室に響いていました。記念撮影の後には子どもたち1人1人と握手してお別れ。



少し照れながらも「楽しかった」と皆笑顔でした!

ナオミさんは「楽しかった! 最初子供たちはシャイだったけど、可愛かったです。開放的な雰囲気であらゆる交流出来て良かった。」と話していました。

8月役員会
8月6日(月) 19時
とち帯広YMCA
8月例会(納涼例会)
8月22日(水) 19時
平和園札内店